

会派名	人数
まちだ新世紀・みんな	11
民主党・社民・ネット	9
公明党	6
日本共産党	5
志政クラブ	4
諸派	1
計	36

会派構成



副議長 吉田つとむ



議長 川畑 一隆

就任のあいさつ

改選後の三月定例会では、三月九日に正・副議長の選挙、三月一〇日に常任委員会などの議会人事の改選等が行われました。川畑一隆議長（公明党）、吉田つとむ副議長（志政クラブ）を選出しました。

川畑一隆 議長
吉田つとむ 副議長
を選出

市民の皆さまには、平素より町田市議会に對しまして、格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私たちは、さる二月二日に執行されました一般選挙後の三月定例会におきまして、議員各位のご推挙により議長ならびに副議長の要職に就任いたしました。もとより微力ですが、責務の重大さを自覚し、市民の負託におこたえするため、公平無私の立場に立って、対話の精神と市民本位の議会運営を基本に、市政の推進と議会の円滑な運営を行うとともに、

さらなる「開かれた議会」の実現を目指し、誠心誠意努力する所存でございます。

町田市は、人口四十二万人を超える都市に成長し、市民の皆さまとともに住みよいまちづくりを目指しております。

地域主権が求められるなか、地方自治をさらに進めるため、市議会といたしまして、日々、生じる行政課題に的確に対応しながら、さらに元氣な魅力あるまちづくりに全力をあげて取り組む覚悟でございます。

今後とも市民の皆さまのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

（平成22年3月10日現在）

○は会派代表者

まちだ新世紀・みんな

○三遊亭らん丈 白川 哲也

渡辺 厳太郎 松岡みゆき

いわせ和子 市川 勝斗

新井 克尚 若林 章喜

佐藤伸一郎 渋谷 武己

大西 宣也

民主党・社民・ネット

○いとう泰人 森本せいや

佐藤 和彦 わたべ真実

戸塚 正人 河辺康太郎

齋藤 祐善 田中 修一

谷沢 和夫

公明党

○上野 孝典

おく 栄一

宮坂けい子

山下てつや

あさみ美子

川畑 一隆

日本共産党

○殿村 健一

池川 友一

佐々木智子

佐藤 洋子

細野 龍子

志政クラブ

○熊沢あやり

藤田 学

吉田つとむ

おさむら敏明

諸派

○友井 和彦

会派の抱負

会派とは、市民の生活に密着した様々な施策を市政に反映させるため、同じような考え方や意見を持つ議員同士のグループのことをいいます。

まちだ新世紀・みんな

地方議会は、中央の政党政治とは一線を画し、ローカルパーティー（地方政党）を結成すべきとの認識から、当会派は自由民主党・みんなの党・保守無所属の議員によって構成されています。町田市議会最大会派として常に責任をもち、透明性と機動性を兼ね備えた議会運営を行います。

①市民本位のわかりやすい政治を指し、行政に對し積極的に政策提言を行います。

②市民病院改革を進め、市民に對し、より安心・安全な医療の提供を推進します。

③次世代を担う子どもたちのために、よりよい教育環境の整備に取り組みます。

④環境先進都市を目指し、循環型社会の構築を目指します。

⑤スポーツ施設の拡充、文化施策の充実を図ります。

公明党

私たち公明党は庶民のための政策を実現する会派です。6名の所属議員は、常に地域に密着して地元からの要望や身近な政策課題の解決に取り組んでいます。

昨年は有料ごみ袋の値下げなどを実現することができ、多くの皆様から喜んで頂くことができました。

今後は①包装プラスチックごみの無料分別収集、②介護サービスを利用しなかった高齢者に介護保険の特典制度導入、③小中学校の校舎リニューアールとエアコンの導入、などを重点政策として推し進めて参ります。

志政クラブ

志政クラブは、自由民権の地町田に根付く「志」ある市政を基本理念とし結成しました。「温故知新」を精神とし、古き良き町田、里山に囲まれた農ある風景、多摩丘陵にはばたく伝統・文化・芸術を次代に継承しながら、そこに新しいものを一歩一歩取り入れていきます。具体的には、会派個人の政策を尊重し、協力しながら実現していきます。

民主党・社民・ネット

私たちは、民主党、社会民主党、町田生活者ネットワークの三つの政党・政派の議員9名で結成した会派です。

日本国憲法および地方自治法を基調として、福祉・教育・環境・人権・平和の5つの理念を柱に議会内で活動していきます。

地方自治体の政治は、市長と議会の二元代表制。議会は市民に近いところになって、

日本共産党

経済不況の影響で市民生活はますます深刻です。保育所や特養ホームを増やしてほしい、医療費の負担を軽くしてほしいなど、市民の要望は切実です。いま、町田市政に求められているのは、「住民の福祉の増進」という地方自治体本来の役割を果たすことです。日本共産党市議団の5名は、市民のみならずと力を合わせ、石坂市政が進めている新庁舎建設（総

諸派

次世代に誇れる町田を創る。

○安心・安全のための政策

・夜間、休日小児救急医療体制の再構築

・市民のためになる保健所の構築（保健所政令市移行の検証）

○環境負荷軽減のための政策

・カーボンオフセット社会実現

・学校・病院等の公共施設への「緑のカーテン」設置

○次世代のための政策

・スポーツを通じ「心・技・体」を育成するハード面の整備及びプログラムの構築

・放課後の子ども居場所拡充

・「習い事入門教室」の創設

―市役所・議会改革―

「事業仕分け」の手法を用い全ての事業を公開点検するよう求めます。また、市民基軸の議会を創る為、議会改革を推進する所存です。特に議員定数を削減して少数精鋭の議会へと再構築を目指します。